

作成日 1999 年 2 月 22 日
改訂日 2023 年 4 月 21 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称	ライトクリスタルMH-220
供給者の会社名称	株式会社ウォーターエージェンシー
〒	162-0813
住 所	東京都新宿区東五軒町3番25号
担当部門	ケミカルサービス事業本部
T E L	03-3267-4073
F A X	03-3267-4106
緊急連絡先	同 上
整理番号	MH-001

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

発がん性

: 区分1A

特定標的臓器特性(反復暴露)

: 区分2(呼吸器系)

物理化学的危険性、環境有害性

: 「区分に該当しない」または「分類できない」

ほかの項目

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

:



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 発がんのおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害のおそれ。

注意書き

:

【安全対策】

: 粉じんを吸引しないこと。

粉じんを長期にわたり吸引すると、じん肺になるおそれがあるため、防じんマスクを着用すること。

眼を傷つけるおそれがあるため、保護メガネを着用することが望ましい。

【応急措置】

: 吸入した場合は、新鮮な空気を吸うこと。

眼に入った場合は、眼をこすらずに水でよく洗浄すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師の診察/手当を受けること。

【廃棄】

: 廃棄物の処理および清掃に関する法令に基づき廃棄を行う。

他の危険有害性

: 粉じんが眼に入った場合に一時的刺激や異物感、吸入した場合に咳き込みや鼻喉への刺激を与える場合がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 化学物質

化学名又は一般名

: パーライト、真珠岩

化学組成

: パーライト100wt%

(パーライトは非晶質シリカ(二酸化ケイ素)から構成されるが、パーライトは天然鉱物のため、自然由来の結晶質シリカを微量に含有することがある)

構成成分(酸化物換算)

SiO₂ 65~80wt%Al₂O₃ 12~18wt%K₂O 3~5wt%Na₂O 3~5wt%Fe₂O₃ 0.5~2wt%

CAS No.	CaO 0.1~2wt%
官報公示整理番号	: No.93763-70-3 (パーライト) No.14808-60-7 (結晶性シリカ(石英)) : (1)-548(二酸化ケイ素)

4. 応急処置

吸入した場合	: 水又は温水でうがいをし、鼻をかんで粉塵を除く。
皮膚に付着した場合	: 風で吹き飛ばすか、流水で洗い流す。
眼に入った場合	: ガラス質なので擦らないで、直ちに流水で十分に洗眼する。刺激が止まらない時は医者に診てもらう。
飲み込んだ場合	: 水で口の中をうがいする。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 周辺の火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: 使ってはならない消火剤の情報はない。
火災時の特有の危険有害性	: 粉塵が飛散する可能性がある。
特有の消火方法	: なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触および吸入を避ける。
環境に対する注意事項	: 屋外に漏出した場合、散水して粉塵の飛散を防止する。
封じ込め及び浄化方法及び機材	: 真空掃除機で吸引するか、濡れたモップ等で拭き取る回収後は飛散防止のため、空容器や袋等に詰めて、産業廃棄物として法令に基づき処理する。
その他	: ガラス質のため、付着した表面を擦ると傷が残る場合がある。製品等に付着した場合は、表面を吸引するか、散水で十分に洗い流す。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い	: 取扱い時には局所排気装置の運転及び/又は防塵マスクの使用が望ましい。
保管	: 容器(特に紙袋)の腐食防止のため、水濡れ、湿気に注意し、風通しのよい場所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 労働安全衛生法・作業環境評価基準 *1 $E=3.0/(1.19 \times Q+1)$ E=管理濃度 mg/m ³ 、Q:当該粉じんの遊離けい酸含有%
許容濃度	: 第2種粉塵(結晶性シリカ含有率3%未満の鉱物性粉塵)*2 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³
設備対策	: 作業中、粉塵が発生する場合には、許容濃度以下に保つために、局所排気装置を設ける。
保護具	
呼吸用の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 防塵眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 衣服(露出部分を少なくするよう、長袖、長裾の作業着が望ましい。) ☑
特別な注意事項	: 労働安全衛生規則第577条の二の規定に基づき作業記録等の30年間保管が必要(がん原性物質)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体(ガラス粉末)
色	: 白色又は淡い灰色
臭い	: 無

融点／凝固点	: 1000℃以上
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 測定データなし
可燃性	: 不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 不燃性
引火点	: 不燃性
自然発火点	: 不燃性
分解温度	: 測定データなし
pH	: ≒7(水への溶出試験時)
動粘性率	: 測定データなし
溶解性	: 水には不溶、酸性液に微溶(例外有※)、アルカリ液に可溶
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: 測定データなし
蒸気圧	: 測定データなし
密度及び/又は相対密度	: 真比重 2.2~2.3、嵩比重 0.04~0.4(発砲品)、0.6~1.2(未発砲品)
相対ガス密度	: 測定データなし
粒子特性	: 5mm以下

10. 安定性及び反応性

反応性	: 混触危険物質として、フッ化水素があり、危険有害な生成物である四フッ化ケイ素(ガス)を発生する。
化学的安定性	: 一般的な条件の下では安定。
危険物有害反応可能性	: 一般的な条件の下では危険有害反応の可能性はない。
避けるべき条件	: 1000℃以上の高温は避ける
接触危険物質	: フッ化水素(危険有害な生成物である四フッ化ケイ素(ガス)を発生する)
危険有害な分解生成物	: 一般的な条件の下では分解しない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 現在知見なし
急性毒性(経皮)	: 現在知見なし
急性毒性(吸入)	: 現在知見なし
皮膚侵食性/刺激性	: 現在知見なし
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 現在知見なし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: 現在知見なし
生殖細胞変異原性	: 現在知見なし
発がん性	: パーライトはIARC(国際がん研究機関)の発がん性物質一覧には記載されていない。*3 一方、結晶性シリカについては、ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARCは本物質粉じんばく露によりヒト発がん性に対し「グループ1」に、日本産業衛生学会が「第1群」に(産衛学会勧告(2015))、ACGIHが「A2」に(ACGIH(7th, 2006))、NTPが結晶性シリカ(吸入性粒子径)に対して、「K」に分類している(NTP RoC(13th, 2014))ことから、NITEでは「区分1A」に分類している*6 以上より、パーライト自体は区分に該当しないものの、区分1A発がん性物質である結晶性シリカを濃度限界(0.1%)以上含有することがあることから、区分1Aとした。
生殖毒性	: 現在知見なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 現在知見なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 本物質そのものの情報はないが、モルモットに非結晶性シリカとして100mg/m ³ の珪藻土を2年間吸入ばく露した試験において、程度は軽いものの区分2の範囲で肺に影響がみられていることから、区分2(呼吸器)とした。*6
誤えん有害性	: 現在知見なし

12. 環境影響情報

生体毒性	: 現在知見なし
残留性・分解性	: 現在知見なし
生体蓄積性	: 現在知見なし
土壌中の移動性	: 現在知見なし
オゾン層への有害性	: 現在知見なし

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物及び汚染容器包装

の廃棄方法

残余廃棄物

: 廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関連法規並びに地方自治体の基準に従う。

汚染容器及び包装

: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関連法規並びに地方自治体の基準に従って処分する。

14. 輸送上の注意

国連分類

: 非該当 *4

海洋汚染物質

: 非該当 *5

輸送又は輸送手段に関連した

: 容器（主に紙袋）が破損しないよう、特に水濡れや乱暴な取扱は避ける。

特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

: 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法

: 粉じん障害防止規則第2条(別表に掲げる作業が該当)

第57条、施行令別表第9(ラベル表示義務)

第57条の2、施行令別表第9(SDS交付義務)

第57条の3(リスクアセスメント実施義務)

労働安全衛生規則第577条の2(がん原性物質)

じん肺法

: 第2条施行規則第2条別表粉じん作業

作業環境測定法

: 該当

消防法

: 非該当

毒物および劇物取締法

: 非該当

化学物質排出把握管理促進法

: 非該当

16. その他の情報

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない為情報洩れがあるかも知れません。

また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられる事をお勧めします。

なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。

注意事項は、通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

参考文献

*1 平成21年3月31日厚生労働省告示第195号作業環境評価基準

別表(1 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉塵)

*2 日本産業衛生学会の許容濃度(2021年5月18日付勧告)

*3 Agents classified by the IARC Monographs, volumes 1-124 7 July 2019

*4 国際連合危険物輸送勧告(united Nations Recommendations on the Transport Of Dangerous Goods)の危険物送に関する国連勧告別冊「試験方法及び判定基準」

*5 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令別表第一

*6 NITE GHS分類結果一覧(2019)

問合せ先

担 当 部 門 ケミカルサービス事業本部

電 話 番 号 03-3267-4073

F A X 番 号 03-3267-4106